

江陵高

書で歌詞 映像作品に

濃淡や太さで感情表現

【幕別】江陵高校(鈴木 譲一校長、生徒352人)

は2日、生徒が歌の歌詞を ワンフレーズずつ書にした ため、つないで1つの映像 作品を作り上げる、ユニー



クな取り組みの成 果を発表した。 テーマは「書と 詩歌がもたらす感情を表現 する」。生徒の発想力・想 像力を高め、書を楽しく学 んでらおうと、 2年生110人を 対象に石原伸弥教 諭が書道の授業で 初めて企画した。 取り組み始めた のは4月。クラス ごとに好きな歌を 選び、歌詞の意味 を考える。詞のイ メージにあった書 体や大きさ、色な どを決め、半紙に フレーズを書き上 げ、写真撮影。

「Let it go」 ありのままです(松たか 子)では、主人公エルサの 変化する感情を表現しよう と、草書や行書を駆使し、 墨の濃淡や太さなども工夫 していた。

発表会には1年生も参加 し、4クラス分を観覧。「花 (オレンジレンジ)を製作 した中川七海さん(2年) は「思った通り書いてもい いんだと、楽しく取り組み だ」と笑顔だった。

作品映像はネットの動画 サイト・YouTubeにア ヅプする予定。(佐藤いづみ)



生徒が持つ半紙一枚一枚が歌詞の一部。つなげて映像化するユニークな作品発表が行われた。

いたという。と1クラス当たり1000枚は書

撮影した写真は

石原教諭や書道部の生徒が中心とな

って、詞の通りにビデオ撮影し、実際の曲とつなげた。1曲で使う半紙は300〜500枚に及び、生徒

たちは練習も含めると1クラス当